

# KUSURIBAKO CINEMA PREVIEW

映画『鏡の中の笑顔たち』

聞き手 柳瀬秀昭(トモエ薬品株式会社 代表取締役) / 三枝正樹(株式会社サエグサ薬品 代表取締役)



俳優  
白石隼也  
監督  
喜多一郎

全国置き薬推進委員会が応援する映画『鏡の中の笑顔たち』公開に合わせて、「くすりばこ」編集員が喜多一郎監督と主演の白石隼也さんに直撃インタビュー!

病院や高齢者施設に「モレイ」を届ける。訪問美容の仕事を通して人間の再生を描く。

**柳瀬**：東京でカリスマ美容師として人気を誇った主人公が、挫折して郷里の北海道に戻り、訪問美容の仕事を通して出会う、さまざまな人たちの交流が描かれています。台本を読ませていただくと、我々置き薬屋の仕事にも通じるものを感じるのですが、訪問美容をテーマに選んだのはどうしてですか？

**喜多監督**：今度の作品が10作目なのですが、これまですべての作品に通じるテーマが人間再生です。サーファー、バンドマン、いろんな人物が再生していく物語を描いてきました。僕の事務所が原宿にあつて、その界隈は5軒に1軒は美容室なんじゃないかっていうくらいの美容室密集地帯。仕事の上でもヘアメイクさんは身近な存在なので、美容師をテーマにしようと考えていたところ、ある人から、病院や高齢者施設を回る訪問美容の話が聞きました。そこでは患者さんたちも美しくなることで気持ちが変わり、笑顔や元気を取り戻していく。主人公はもちろん、訪問美容を通した人間再

生を描きたいと思いました。

**三枝**：カリスマ美容師から、挫折を経験して訪問美容へ。そのときの気持ちの切り替えをどう表現するかが難しかったのではないのでしょうか。

**白石**：台本では東京編と北海道編の間髪を切る設定でしたが、実際には東京編を後で撮影することになったり、長いバージョンと短いバージョンを同じ日に撮影する場面もあったりして、髪型を劇的に変化させることができなくなりました。容姿で変化を見せられない分、内面的な変化を表現しなければいけないので、その点では頭を使いました。でも僕自身も笑顔を振りまけるタイプではなく、会話やコミニケーションを積み重ねていくことで人間関係を構築していくほうなので、心を開くのに時間が掛かるという点では、主人公の気持ちが分からなくもありません。普段から周りの人に対してオープンな人は、そういう感覚が掴みにくいかもしれませんが、僕



の場合は、わりと日常でも心を閉じた状態とオープンにした状態を自分でも意識しているので、内面的な変化は表現しやすかったと思います。  
**三枝**：撮影中に、心がオープンになった、と印象に残るような場面はありましたか？  
**白石**：自分でも自然と気持ちが開いたと思っただけは、ミッキー・カーチスさんのシーンです。台本を読んだ段階では、ただ偏屈で説教くさいジジイだな、というイメージだったのですが、ミッキーさんがアロハシャツで現れて、笑い飛ばしながら軽快にセリフを口にすることで、説教臭さが消えて、ふっと心が融かされた感じがしました。

**柳瀬**：髪を切り、身だしなみがきれいに整えられることで、入院患者さんや高齢者の方たちが元気になるって、様子が描かれています。実はわたしたちの仕事も似ています。元気で健康になってくれるお客様の声を間近に受け取ることができて、逆にお客様から元気をいただいて、この仕事をまた頑張ろうという気持ちになれます。

白石さんが演じられた主人公は、一度は挫折しながら、新たな場所で真のやりがいを見つけていくという役柄でした。白石さんのような若い方からすると、置き薬の仕事はピンとこ

いと思いますが、この業界にも、何らかの挫折をして置き薬に辿り着いた若者たちが数多くいます。映画を通して感じたことから、彼らに向けて何かエールをもらえないでしょうか。  
**白石**：祖父が好きだということもありますが、僕はお年寄りが大好きなんです。いろんな人生経験を重ねてきた上での包み込んでくれるようなあつたかさ。今回の撮影でも感じましたが、ミッキーさんと松原智恵子さんに、それにエキストラで来てくださった中に80代後半の女性もいたんですが、「まじで？」とか「これめっちゃいいじゃん」とか、そんな言葉が飛び出したりして、みんなすごく愛おしくて、話していて楽しいんですよ。

それに訪問という面では、パーソナルな部分を知ると、人間関係は大きく変わってきます。年を重ねた方たちと接する仕事は、僕らの年代ではあまり多くありません。お年寄りのお宅を訪ねる機会が多い置き薬は、とても魅力的な仕事だと思います。

**柳瀬&三枝**：本日はお忙しい中、ありがとうございました。



## STORY

**主**人公・井上遼(白石隼也)は、数々のコンクールで輝かしい賞を受賞したカリスマ美容師として、東京都内の人気美容室で働いていた。順風満帆と思われるなか、彼は技術を高めることだけに邁進していたが、とあるきっかけで突然解雇されてしまい、さらに自宅アパートまで火事に見舞われる。路頭に迷い、故郷に戻ってきた彼は、先輩の紹介で地元の美容室に1週間だけお世話になることになり、そこで働く高橋まり(夏菜)と出会う。淡々と仕事をこなす遼に、店長は訪問美容の講習を受けるよう持ちかける。強引に連れていかれた病院の一室では、髪を切りに来てくれたことを喜ぶ一人の女の子が待っていた。病気のため一時的に髪を失った女の子は、ウィッグをセットしてもらうと嬉しさのあまり涙ぐむ。その日を境に遼の心には小さな変化が訪れ…。



### 『鏡の中の笑顔たち』

監督/喜多一郎  
出演/白石隼也、夏菜、中尾明慶、瀬古千裕、深田 綾/松下由樹/ミッキー・カーチス/松原智恵子 他

2015年5月30日より角川シネマ新宿ほか全国公開!



© 2015「鏡の中の笑顔たち」製作委員会

郵便はがき

939-0341

富山県射水市三ヶ783

株式会社ティー・マーク  
「くすりばこ」プレゼント係

切手を貼ってご投函ください

ふりがな \_\_\_\_\_

ご住所 〒□□□-□□□□ \_\_\_\_\_

都道府県 \_\_\_\_\_

ふりがな \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 歳

お名前 \_\_\_\_\_ 性別 \_\_\_\_\_

TEL ( ) \_\_\_\_\_ 男・女 \_\_\_\_\_

ご職業 会社員 公務員 農林漁業 パート・アルバイト 主婦  
会社役員 教職員 自営業 学生 無職  
団体役員 医療関係 その他( ) \_\_\_\_\_

あなたの家庭を担当している配置薬販売代理店の名前 \_\_\_\_\_